

締め切り  
4月14日

## 篆刻研究 選評：佐藤焯水

### 次号課題 「鮮仁」

今月の課題は論語の学而編の「子曰 巧言令色 鮮矣仁」から転借した「鮮仁」とする。

訓読は「子曰く 巧言令色 鮮ないかな仁」で、意味は「孔子がおっしゃるには、口先が上手で、相手に気に入られるように振る舞う者は、人としての誠実な心が少ないと言わざるを得ない」といったところか。

「巧言令色」と逆のことばで、論語の子路編に「剛毅朴訥」という四字熟語がある。

「鮮」という漢字は、部首は「魚」からも分かるように、生の魚（鮮魚）の意が第一義であるが、少ない、めったにないという意もある。

参考作品



優秀作品

<p>円<sup>の</sup>辺が効果的で、馬の 肖形を引き立てている。</p>	<p>躍動的な馬の肖形印。 線の厳しさが良い。</p>
<p>磚<sup>（日干し煉瓦）</sup>の風 合いが魅力的。</p>	<p>「馬」の甲骨文字を用いた 印、アイデアが面白い。</p>

- 出品資格特に制限なし。
- 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。楕円・長方形等も可）。
- 印影を白の半紙1/4に押印し、右側に条幅出品券を貼付。
- 課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。